

臨床倫理委員会議事録

日 時：令和5年12月11日（月）（16時30分～17時00分）

場 所：第一会議室

出席者

委員長：統括診療部長

委 員：臨床研究センター長、地域医療・情報部長、外来部長、薬剤部長、
看護部長、事務部長

オブザーバー：院長、副院長

申請者：外科医長

事務局：管理課長、庶務班長

【審議議題】

当院で初めて施行するヘルニア手術（右上腰ヘルニアの腹腔鏡手術）について

以下議事

（申請者）83歳上腰ヘルニアの方の腹腔鏡手術を当院初で行うため、倫理審査を申請します。直接組織縫合法と、前方到達法によるメッシュ修復法とございましたが、今回は後者による手術を行う予定です。術後再発は7～15%となります。審査をお願いいたします。同意取得もご家族からいただいているということです。

（委員等）死亡例についてですが、左側の結腸によるもので良いでしょうか。

（申請者）嵌頓したのが左側で結腸による脱腸となります。腰ヘルニア全体では、10%程度と報告されています。

（委員等）今回のヘルニアはヘルニアが大きく、痛みの程度が酷いため上記のような手術を行うということでしょうか。

鼠経ヘルニアですと、数日で軽快するケースが多いように思えるのですが。

（申請者）痛みの程度ではありますが、神経を避けて手術をしないといけないのですが、それは気を付けて行おうと思います。

（委員等）当院で初めてとのお話でしたが、手術が初めてということで良いのですよね。

(申請者) 手術自体が初めてです。もう 1 例同じ病名の手術適応の患者様がいたのですが、高齢者であったため、今回の 1 例のみとさせていただいております。

(委員等) この方が当院で手術を希望されているということで良いのでしょうか。

(申請者) 岡崎に住んでいらっしゃった方で、症状が強くなったため、C T 検査をし、2022 年度に当院エリアに移住してきております。

(委員等) 腹腔鏡の手術が何かしらの理由でうまくいかなかった場合はどうするのでしょうか。

(申請者) 今回、背中のアプローチよりは腹部からのアプローチを行うのですが、もし何かあった場合は開腹手術に切り替える予定です。

(委員等) 特に問題はないと思いますが、その他、ご意見等ありますか？

※一同異議なし 承認とする

以 上